担当者スポット



東北の復興を応援しよう(^0^)／!

教育研修部　佐々木基了
Sasaki Motoki

今年2月、福島県いわき市の「いわきサンシャインマラソン」に参加しました。仮設住宅の前や、津波被害の爪痕が残る海岸線も走り、復旧、復興がなかなか進んでいない印象を受けました。

しかし、厳しい寒さの中、地元の方々からは温かな声援をいただきました。太鼓の演舞や大漁旗を掲げての応援などで元気になりました。甲子園に出場したいわき海星高校の前を通ったときには、野球部員が出迎えてくれました。私も思わず「甲子園おめでとう!!」と声をかけながら選手とハイタッチ。メイン会場では、コースの両サイドにぎっしりと観衆が集まり、スター気分になりました。

～日本の復興を「いわき」から～、この大会のキャッチフレーズです。まさに、復興に向けて前に進もうとする地元の方々の強い気持ちがこもった声援に感じました。全国各地から参加したランナーや運営ボランティアの人たちも、いわき市の方々と心を一つにして、この大会を楽しんでいたと思います。

東日本大震災から2年が経過しましたが、これからも被災地の方々に寄り添い支援を続けていくことが必要です。今回参加した「いわきサンシャインマラソン」を通じて、被災地の復興をもっと応援していこうと気持ちを新たにしました。東北に生まれた者として、自分ができる東北復興のお手伝いを続けていきたいと思います。

編集後記

今年度のコラムは、東洋大学副学長北脇教授に、連載講義は、「地域循環圏」について北九州市立大学国際環境工学生命学科松本教授をはじめとする学識経験者の皆様にご執筆いただきます。

本号のセンターだよりでは、JWセンターと平成19年度から電子マニフェスト事業および廃棄物管理政策についての情報交換等を行っている韓国環境公団（KECO）との覚書の継続署名、並びに、ベトナム・ハノイ市において開催された「アジア３Rフォーラム第４回会合」の参加の報告をさせていただきました。今後もアジアにおける国際交流を積極的に行い、国内はもとよりアジア地域における循環型社会形成への取組みの情報を発信していきたいと思います。

（新　井）

本誌に関する連絡先：総務部広報室　e-mail:jigyo@jwnet.or.jp

【アンケートへのご協力のお願い】
JWセンターのホームページでは、本誌のPDFファイルを掲載しています。ウェブアンケートで皆さまからのご意見等をお聞かせください。
URL http://www.jwnet.or.jp/publish/kikansi/index.html

日廃振センター情報（季刊）VOL.13 NO.1　発行日：平成25年4月15日　発行人：岡澤和好
発行所：公益財団法人　日本産業廃棄物処理振興センター
〒102-0084　東京都千代田区二番町3番地 麹町スクエア7階
TEL：03-5275-7111　FAX：03-5275-7112　http://www.jwnet.or.jp/
デザイン・印刷　株式会社ぎょうせい